

Chiba Rosai News

千葉ろうさいニュース

Vol.17

平成30年1月1日



専門・認定看護師特集

目次

2・3

平成30年 新年を迎えて

院長 河野 陽一
事務局 長 澤尻 賢一
副院長 長 宇田川 郁夫
副院長 長 安川 朋久
副院長 長 小沢 義典

4・5

当院で活躍する認定看護管理者・ 専門看護師・認定看護師のご紹介

認定看護管理者 看護部長 青田 孝子

6

院内サークル活動のご紹介

ろうさい Mini News

クリスマスコンサートを開催しました。

7

連携登録医のご紹介

日高クリニック

8

当院の理念

平成30年



院長
河野 賢一
こうの けんいち

地域の急性期医療を担う病院として医療の質を高めていきます

明けましておめでとうございます。平成30年の新たな年が始まりました。

高齢者は若い人よりも健康に問題を抱えることが多く、病院を受診する率が高くなります。特に2025年（平成37年）前後には団塊の世代の人たち（昭和22年～昭和27年生まれ）が75歳以上の後期高齢者となることから、医療への需要がより高くなると予測されます。そこで、国は2025年に向けて医療整備を急ぎ進めるために、それぞれの都道府県に地域医療構想の作成を指示しています。千葉県そして市原市も医療構想に基づいて病院の機能分担を進め、市民の皆様が適切な医療を受けられる体制を目指しているところです。

千葉ろうさい病院は、この医療構想において高度急性期そして急性期医療を担う基幹病院として位置づけられていますが、急性期疾患の治療を担うだけでなく、がんの患者さんが治療に専念しながらも会社勤めなどの仕事を継続できるよう病院のスタッフがサポートする「治療就労両立支援」を進めるなど、患者の方々が良好な生活を維持できるように力を注いでいます。また、県より指定されている認知症疾患医療センターには臨床心理士を配置し、より受診しやすいシステムを整えてまいりました。このような患者の方々そしてご家族への支援体制の充実は、今年も当院の重要な課題です。

本年もスタッフ一同、市原市そして周辺地域の中核病院として近隣の医療機関とも協力し、地域医療に全力を上げて取り組んで参ります。皆様方からの変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成30年が皆様に佳い年であることを祈念し新年の挨拶とさせていただきます。



事務局長
澤尻 賢一
さわじり けんいち

新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、平成30年がスタートし、医療の世界では診療報酬改定と介護報酬改定という同時改定が行われ、今後の医療・介護施策において極めて大きな節目となる年となります。現行の社会保障制度の基本的な枠組みが構築されたのは昭和30年代ですが、その当時から見ると、少子高齢化、雇用環境の変化、経済の停滞、家族の在り方などの変化により社会保障の前提が大きく変わってきています。そういう意味では、今年行われる同時改定は、将来の持続可能な社会保障に向けての重要な節目となる改定ですので医療・介護を提供する側も受ける側も大変注目されることです。

ところで、千葉ろうさい病院が開院したのは昭和40年2月、みなさんはお幾つで、どんな年を迎えていたでしょうか？世間では「いざなぎ景気」の真っ只中、新・3種の神器である車、カラーテレビ、クーラー（3C）が持てはやされる時代。また、ファッションでは、アイビースタイルが流行。ヒット商品では、ジャルパック、オロナミンC、チョコレートボールなど現在に至るまでしっかり存在感を伝えているものも多くあり、明るい未来が見える時代でもありました。

新しい年の始まりに当たり、地域に必要とされる病院となるべく努力するとともに、地域の明るい未来のためにサービスの向上に努めて参りますので、より一層のご支援、お引立てを賜りますようお願い申し上げます。

新年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。

地域の医療機関の皆様におかれましては、日頃より当院に対するご協力・ご支援をいただき誠にありがとうございます。

当院は市原およびその周辺の地域の中核病院として、今後もその重要な役割である高度・急性期医療を更に充実させる役割を担っていると考えます。急性期医療を必要とする患者さんをできるだけ多く引き受け、診療するためには、いわゆる「病院完結型医療」ではなく、介護・健康・福祉の機関と連携して、急性期医療が終了した患者さんのスムーズな退院と、その後の療養を地域で支えていくシステムを構築していく必要があります。少子高齢化が急速に進んでゆく中でこの「地域包括ケア」を実現する体制が求められており、地域の関連機関の皆様とは更に連携を深め、より良いシステム作りを進めてまいりたいと思いますので、本年もよろしくご指導・ご鞭撻のほどお願いいたします。

あけましておめでとうございます。

昨年の4月より副院長を拝命いたしました。これまでの呼吸器外科部長として肺がんの診断および手術に加え、主に医療安全を担当してまいります。

治療は患者さんの病気を癒し元気になっていただく事を目的として行われますが、多くの治療行為は合併症や副作用といった患者さんにとって危険な側面を併せ持っています。治療が行われる病院には、一步誤れば様々な危険性が潜んでいることとなります。病院の本来の目的を達成するために、医療行為や入院という環境に潜在する危険性をできるだけ排除し、安全に治療が行われるようにすることが医療安全の目的です。そのため全ての病院職員が一丸となって様々な取り組みを行っていく所存ですが、併せて地域の医療機関の皆様や患者さんとその家族の方のご協力も不可欠です。今年一年、医療安全に向けてのご協力を宜しくお願いいたします。

明けましておめでとうございます。

29年4月より副院長を拝命いたしました。リハビリテーション科と脳神経外科の診療の他、認知症疾患医療センター長、卒後臨床研修管理室長などを担当しています。

当院は28年1月に認知症疾患医療センターの指定を受け、まもなく満2年を迎えようとしています。精度の高い鑑別診断に基づいた診療と生活指導や様々な支援との連携により認知症の方が長くその人らしく生活していける事を目標としています。診断に迷う認知症症例や対応に苦慮する症例が有りましたら医療連携室までご連絡ください。免許証更新に関わる認知症診断にも対応しています。

初期臨床研修に関しては、30年度から研修医の定員を8名から10名に増員しフルマッチする事が出来ました。6月にNPO法人卒後臨床研修評価機構の更新審査を受ける予定です。研修の質の向上を図っていきます。地域医療研修では、かかりつけ医の先生方にご指導をお願いしています。本年もよろしく申し上げます。



当院で活躍する認定看護管理者・ 専門看護師・認定看護師のご紹介

この資格認定制度は、1987年4月厚生省「看護制度検討会報告書」において、提言されたことを契機に発足しました。当院看護部には現在19人が在籍しており、いずれも第一線で活躍している勢いのある人材であり、多くの期待と役割を担い、病院にとって必要不可欠な存在となっています。今後さらに領域の拡大と層の充実を図っていきます。

認定看護管理者

多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族及び地域住民に対して、質の高い組織的看護サービスを提供することを目指し、看護管理者の資質と看護の水準の維持及び向上に寄与することにより、保健医療福祉に貢献します。



認定看護管理者 看護部長
青田 孝子

地域のがん診療連携を支える



がん化学療法看護

抗がん剤の副作用による苦痛を軽減し、治療が継続できるように患者さんやご家族をサポートしています。

がん看護 乳がん看護

治療の選択やボディイメージの変化など、がんに関する様々な困りごとにお互いに連携して対応しています。

がん性疼痛看護 緩和ケア

診断時から患者さんやご家族の身体や気持ちのつらさが和らぐようにサポートしています。

救急看護 集中ケア

緊急性が高く、重篤な状態にある患者さんを多くの医師や臨床工学技士とともに一丸となって、チーム医療を実践しています。



急性期医療を支える

手術看護

ICU・病棟看護師と連携して手術前・中・後の患者さんの看護を切れ目なく実践しています。また、緊急性のある手術にも迅速に対応しています。



認知症看護

認知症の方にとって入院は、日常生活から切り離される体験です。強い不安や混乱に陥り、その人らしさを失うこともあります。認知症の方の不安や思いに寄り添い、症状や段階に応じたケアの実践、環境調整や家族のサポートを行います。様々な職種や当院の認知症疾患センターと連携しながら、適切な治療を受けて元の生活に戻れるよう支援します。



感染管理

ウイルスや細菌から病院に関わるすべての人たちを守るために、手洗い・咳エチケット・環境清掃などの啓発に努めています。

地域包括支援システムを支える

糖尿病看護

糖尿病は生活習慣病と言われています。合併症を予防し、より良い生活が送れるよう療養生活を一緒に考えサポートしていきます。



皮膚・排泄ケア

創傷・床ずれ（褥瘡）・ストーマ（人工肛門、人工膀胱）・失禁ケアでお困りの患者さんや家族が、安心して生活ができるようにケア方法を一緒に考えます。



院内サークル活動のご紹介

～ テニス部紹介～

テニス部は毎年9月の終りに開催される『千葉県病院対抗テニス大会』に向けて練習をしています。このテニス大会は、千葉県内から約20施設・およそ30チームが集まる大きなイベントです。平日、仕事が終わってから2時間、ナイターコートを借りてボールを打ち合っています。人数が揃えば、初夏に軽井沢でテニス合宿をしたり、数施設集まったの交流試合などにも参加したりしています。私達は、試合にはなかなか勝てませんが、どこよりもたくさんの笑顔にあふれ、試合の作戦よりもその後の打ち上げの話を優先するとにかく楽しむ事をモットーにするチームです。もちろん今年の大会後も美味しい食事とお酒、そして笑い声に包まれました。最近、女子部員が少ないので、テニス経験者はもちろん未経験でも楽しい事が好きな方を募集しています。



千葉県病院対抗テニス大会



2016テニス大会



軽井沢テニス合宿風景

ろうさい Mini News

クリスマス
コンサートを
開催しました

クリスマスコンサートを開催いたしました。12月20日（水）16時から、ホスピタルストリート2Fです。院内から、多数の音楽を愛好する医師やパラメディカルスタッフによるピアノ、バイオリン、トロンボーンなど様々な楽器が登場し、あっという間の1時間の演奏会でした。入院患者さんは、普段と違った表情の医師の演奏を楽しんでいたようです。今回も、ボランティアとして、千葉市在住のピアニスト近藤和花さんに出演していただきました。音楽を通じて患者の皆様がより元気になりますように、心地よいひと時をすごしていただければとお話されていました。



連携登録医のご紹介

日高クリニック

みやもと しんほ
院長 **宮本 信浩** 先生
(旧姓 金)



日高クリニック院長の宮本（旧姓 金）と申します。当院は、平成13年に先代院長の日高医師によって開院され、平成22年に私が継承いたしました。私は千葉大学病院総合診療科の生坂教授のもとで10年ほど総合診療・家庭医療を研修し、地域においてお子様からお年寄りの方まで何でも相談できるホームドクターを目指し開業しました。

内科・呼吸器科・アレルギー科・リウマチ科・小児科を標榜しており、喘息や肺気腫などの呼吸器疾患の患者さんが多く来院されます。「咳がとまらない」「呼吸が苦しい」と来院される患者さんが、「楽になりました」と笑顔になったときが一番嬉しく思います。また睡眠時無呼吸症候群のCPAP療法、禁煙外来なども行っております。リウマチ科では週1回専門外来を行っており、リウマチ科の医師が診療を行います。日常診療において千葉ろうさい病院の先生方、スタッフの皆様には大変お世話になり感謝いたします。この場を借りて厚く御礼申し上げます。今後も地域医療の貢献できるよう誠心誠意努力いたします。



日高クリニック

診療案内

〒290-0062 千葉県市原市八幡578

電話番号 **0436-40-3366**

診療科目 内科 呼吸器科 アレルギー科 リウマチ科 小児科

診療時間		月	火	水	木	金	土	日・祝
午前	9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	休
午後	3:00~6:00	○	○	休	○	○	休	休

※日高紀子医師の診察は毎週木～土曜日になります。月～水曜日の診察はありません。

千葉ろうさい病院 理念

基本理念

私たちは、地域の人々、勤労者の方々に高度で安全な医療を提供します。

基本方針

1. 患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療を提供します。
2. 急性期医療・予防医療を担い、基幹病院として地域医療に貢献します。
3. 働く人々の健康を守り、社会復帰を支援します。
4. 豊かな人間性と高い技能を備えた医療人の育成をはかります。
5. 明るく向上心に満ちた職場をつくります。



屋上からの風景

特に空気の澄んだ冬の夕方は、はるか遠くの富士山も間近に見ることができます。

編集 後記

お正月の食べ物といえば、真っ先にお餅が思い浮かびますが、皆さん、召し上がりましたでしょうか。今や、お餅はお店で一年中、買うことができ、我が家の食卓にも、季節を問わずに、よく登場しますが、やはりお正月には食べたくなります。

そんなお餅ですが、栄養は糖質がご飯より35%増し！運動中の主なエネルギー源となる「糖質」が豊富に含まれていることで マラソンには、お勧めだそうです。美味しく頂いたあとは積極的に運動したいものです。

塚田 清一（総務課）